

混合交通を観察する  
**DOCUMENT**  
series—199  
**Eye**



●観察場所／神奈川県足柄下郡湯河原町大観山  
箱根ターンバイクと県道75号線の合流地点の駐車場およびその付近  
●観察日／8月5日(土曜日)  
●天候／晴れ  
●観察時間／10:20～11:20  
●観察者／4名



長袖、長ズボン、グローブ、ブーツを着用するライダーとパッセンジャー

●郊外を走行するライダーとパッセンジャーの服装を観察する  
**1時間に観察したライダーとパッセンジャー145人中、  
長袖の上着を着用していた人、104人(71.7%)**

●WHY

**肌を露出しない服を身につけているのか?**

二輪車に乗車する時の服装は、自分の身体を守る大切な装備だ。基本は肌を露出しないこと。万一の転倒の際にケガの程度を軽減してくれるだけでなく、走行

風による体温の低下、日焼けによる疲労を予防する効果がある。そのためライダーやパッセンジャー(後部座席同乗者)は、強い日差しが照りつける夏でも、肌を露出しない服を身につけることが望ましい。

●WATCHING

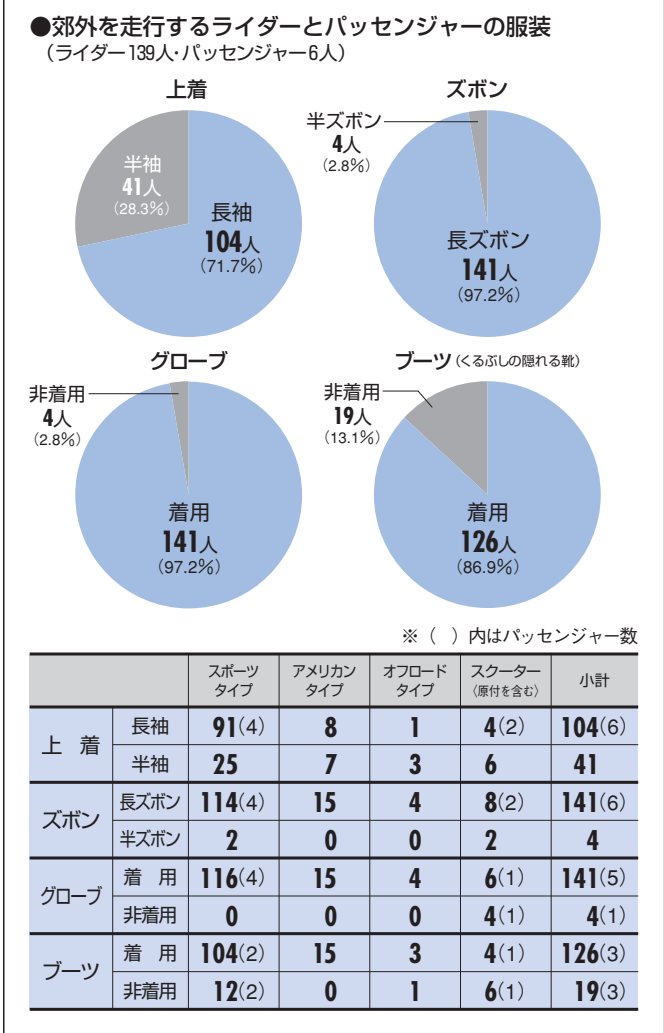
**グローブや長ズボンの着用率が高い**

気温の高い夏、郊外を走行するライダーとパッセンジャーの服装を車種別に観察した。

観察場所は、神奈川県・箱根町に隣接する大観山。箱根ターンバイクと芦ノ湖から湯河原方面を結ぶ県道75号線の合流地点で、芦ノ湖が一望でき、多くのライダーが休憩場所としている大きなドライブインの駐車場およびその付近。

1時間に観察場所を通過した二輪車は、スポーツタイプ112台、アメリカンタイプ15台、オフロードタイプ4台、スクーター(原付を含む)8台の計139台。このうち二人乗りの二輪車は、スポーツタイプ4台、スクーター2台の計6台だった。

観察の結果、ライダーとパッセンジャー145人のうち、長袖の上着を着用していたのは104人(71.7%)。長ズボン着用は、141人(97.2%)。グローブを着用していたのは、141人(97.2%)。ブーツ(くるぶしの隠れる靴)を着用していたのは、126人(86.9%)だった。ライダーの年齢層は20代前半～60代と思われ、幅広かった。また、排気量1000cc以上のスポーツタイプが多く見かけられた。駐車場に立ち寄るライダーの多くは、二輪車を駐車させたのちにジャケットなどの上着を



●PROPOSE

**服装に気を配ることが安全運転につながる**

観察日の箱根の天気は晴れで、最高気温は32度。それにもかかわらず多くのラ

脱いで休憩していたが、出発する際は再びジャケット類を着込み、肌を露出しない服装になっていた。ほとんどのライダーが二輪車の運転に適したジャケットを着用していた。パッセンジャーもライダーと同様に肌を露出させない服装をしており、軽装のパッセンジャーはほとんど見かけなかった。

一方で、若いライダーを中心に半袖のTシャツ姿も観察された。この傾向はアメリカンタイプやオフロードタイプに乗るライダーに強かった。また、半ズボン姿やサンダル履きなど軽装のライダーは原付に見られた。

観察場所では、ほとんどのライダーが駐車場から公道へ出る際に、一時停止と左右確認を行っていた。



パッセンジャーは長袖を着用しているが、ライダーは半袖のケースも観察された



公道に出る時は一時停止して左右の安全確認をするライダーが多かった

また、気温が高くなる夏に市街地などで近距離を走行する際には、つい軽装になりがちである。今回観察した郊外を走行するライダーやパッセンジャーのように、近距離でも肌を露出させない服の着用を心がけてほしい。

自分の身体を守る服装に気を配ることは、安全意識を高めることにつながる。